

令和5年度



## 山形県ペタンクシングルス大会

**日程** 令和5年6月11日(日) 8:30~14:00  
**受付**・8:30~ **開会式**・8:45~  
**会場** 生涯学習プラザ・ペタンクコート



**主催**：山形県ペタンク連盟  
**共催**：山形県ペタンク連盟・置賜ブロック  
**主管**：長井市ペタンク協会  
**後援**：公益法人日本ペタンク・ボール連盟

# 令和5年度 山形県ペタンクシングルス大会 個人戦

- 1 主催 山形県ペタンク連盟  
2 主管 山形県ペタンク連盟・置賜ブロック  
3 日時 令和5年6月11日(日) 雨天決行  
受付開始 午前8時30分～ 開始式 午前8時45分～  
4 会場 生涯学習プラザ・ペタンクコート (長井市九野本 1235 番地の 1)

国道利用の場合ヤマザワの信号交差点が目印



- 5 参加資格 男女・年齢は問いません。  
6 参加費 県連盟会員 1名 500 円  
中学生まで 1名 500 円  
一般参加者 1名 1,000 円  
(山形県内在住の方のみ)

- 7 持参品 雨具・飲み物 等 (おにぎりは用意しますが、足りない人は昼食持参)  
※ ペタンクボールは各自持参願います。ない方は、事前にお問い合わせください。  
8 競技規則と競技方法  
① 公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟の競技規則を準用し一部大会規則を適用する。  
② 1人対1人(シングルス)で対戦します。  
③ 対戦方法は主管ブロックで当日説明いたします。対戦の組合せは主管側で行う。  
④ 試合は、11点先取で勝者を決めます。  
なお、大会運営上開始時の得点を考慮する場合があります。(例 4点から開始)  
⑤ 試合に関しては、相互審判とし、判断のつかない場合は審判員の判断に従う。  
9 表彰 ◎優勝(トロフィー持ち回り)決勝1～3位 ○交流1～3位  
10 参加上の注意  
1)、参加者は、自己責任において参加し、主催者側は、障害、紛失、その他の事故については責任を負いません。(各自、傷害保険に加盟してください。)  
2)、ごみ等については各自責任を持って持ち帰るようお願いいたします。  
11 申込締切 5月31日(水)まで必着でお願いします。  
申込用紙記入の上郵送で、参加費は当日お願いします。  
12 申込及び問合せ先 山形県ペタンクシングルス大会事務局 桑島正孝  
〒993-0042 長井市平山 2116 Tel 090-1936-6870

「令和5年度 山形県ペタンクシングルス大会」申込書 整理番号 \_\_\_\_\_

| 氏名 | 住所 | 電話番号 | 生年月日 |  |
|----|----|------|------|--|
|    |    |      |      | <input type="checkbox"/> 会員<br><input type="checkbox"/> 中学生<br><input type="checkbox"/> 一般 |

## [大会役員]

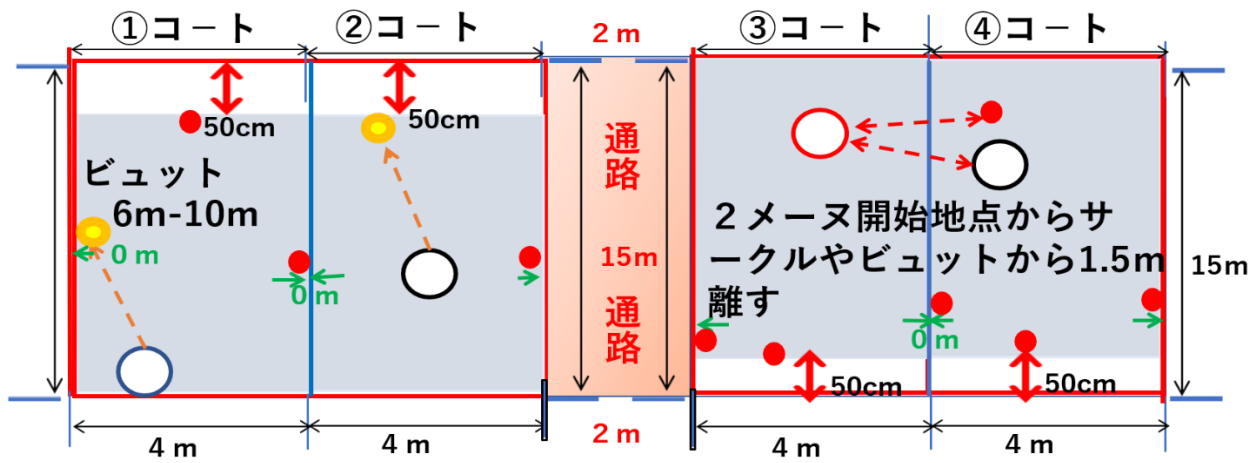
- ◇ 大会長 布施善範 ◇ 副大会長 渋谷佐輔  
◇ 競技委員長 上田 壮 ◇ 総務委員長 桑島正孝 ◇ 各公認審判員

### 開会式次第

- 進行 桑島正孝 様  
副大会長 渋谷佐輔 様  
◎ 開会のあいさつ  
◎ 催者のあいさつ 大会委員長 布施善範 様  
◎ 競技上の注意 競技委員長 上田 壮 様  
競技規則を守ることは義務ですが、試合中における選手の振る舞いに違反する行為があれば、即レッドカードを提示する場合があります。

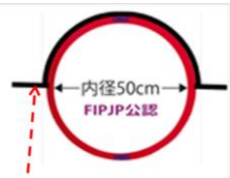
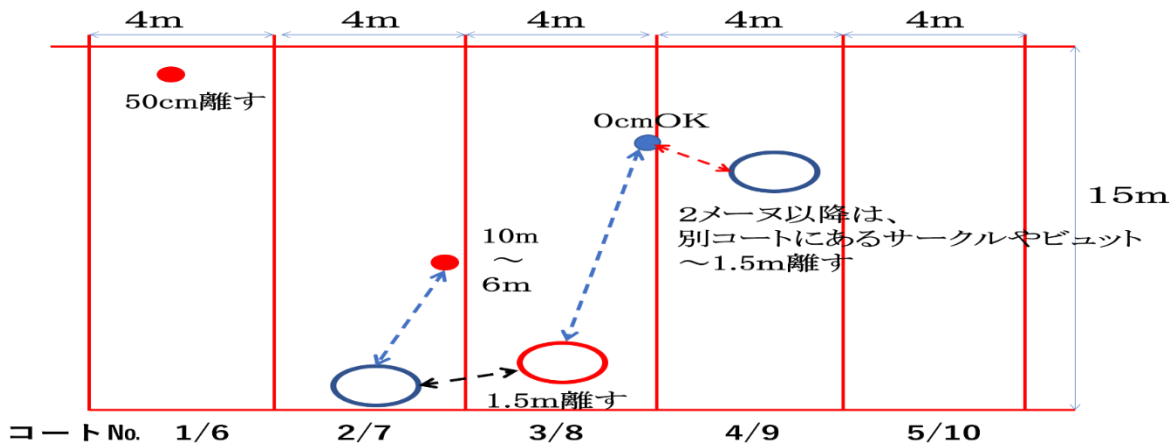
\*大会ルールとしては日本ペタンク・ボール連盟の競技規則を準用し一部大会ルールを設定し、大会を進行いたします。

- 1、対戦方式は1人対1人とします。(男女・年齢制限は問いません)
- 2、ボールは各自3個とする。(ボールの確認は必要)
- 3、予選の組み合わせ抽選は、審判長の立ち会いのもと、大会スタッフにより責任抽選を行います。(夫婦等で参加の場合は、抽選は考慮いたします。)
- 4、試合方式は、
  - ① 予選リーグは3～4名を1ブロックとします。  
大会ルールとして、スタート時の得点を各試合4点から始め11点先取とます。
  - ② 決勝トーナメント戦・各ブロック1-2位のチーム及び交流トーナメント戦・各ブロック3位以下のチームで各試合を行います。  
組み合わせ抽選は、審判長の立ち会いのもと、大会スタッフにより責任抽選を行います。
- 5、得点板については、左右どちらかにするか決めて下さい。  
ポイントを得たときの表示についてもトラブることなく処理願います。
- 6、コートについては、指定されたコートとし、次の記\*に従って下さい。



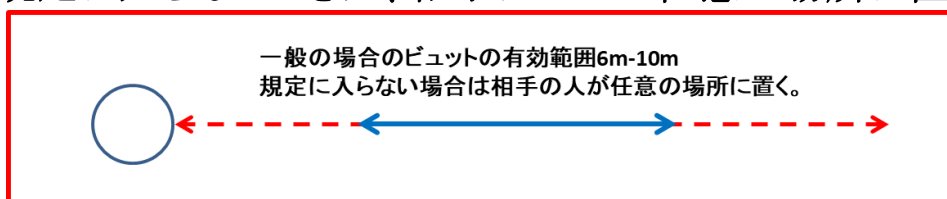
- \* ①—のラインは無効ライン(失格ライン)。—のラインは有効ライン。  
時間制限や大会規則ですべてのラインを無効ライン(失格ライン)にする場合があります。(通路は4mになる場合もあります。)
- ①ビュットは短辺ラインから50cm内側へ。長辺ラインは0cm
- ②サークルは障害物がある場合は1m以上離す。  
無い場合はコートをもたぐことなく描くか既定のサークルを置く。
- ③第2メーヌ以降は他のサークルやビュットから1.5m以上離す。

\* 参加人数や会場の状況により下図のコートに変更になる場合があります。(全ライン失格ラインとします。=大会ルール)



7、サークルについては、既成のサークルの使用します。  
サークルにマーキングが必要です。

8、ビュットが規定に入らないときは、相手チームが任意の場所に置いて下さい。



9、最初に投げたビュットはマーキングすること。

10、ビュット及びボールは、計測時を除いて、ポイント確定後1分以内に投げて下さい。(競技規則第7条7項は厳守とします。)

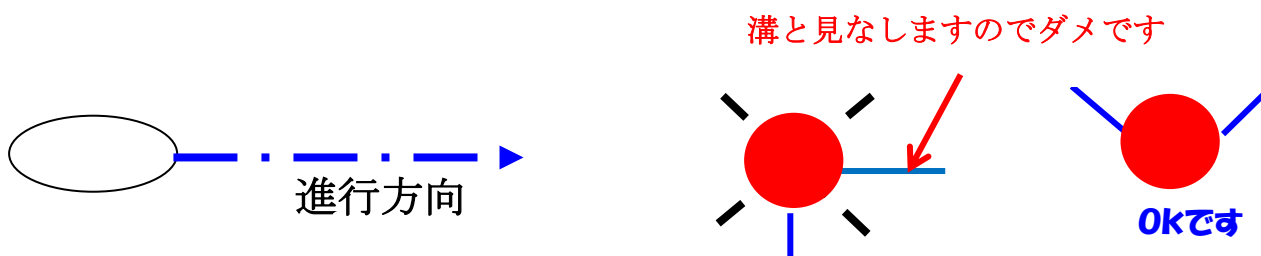
\* 他県の大会等で、30~40秒に短縮して、大会ルールとして扱っている大会も



ありますが、ペタンク普及時の指導方法として、チーム内での作戦等に1分以内の時間を有効に使用して下さい。」と指導している関係上、山形県内の大会では厳守いたします。

11、審判は相互審判(セルフジャッジ)としますが、必要に応じて審判員が判断いたします。

12、計測時はビュットやボールにマーキングをつけて下さい。  
(時間のカウントはしません。計測後からカウントです。)

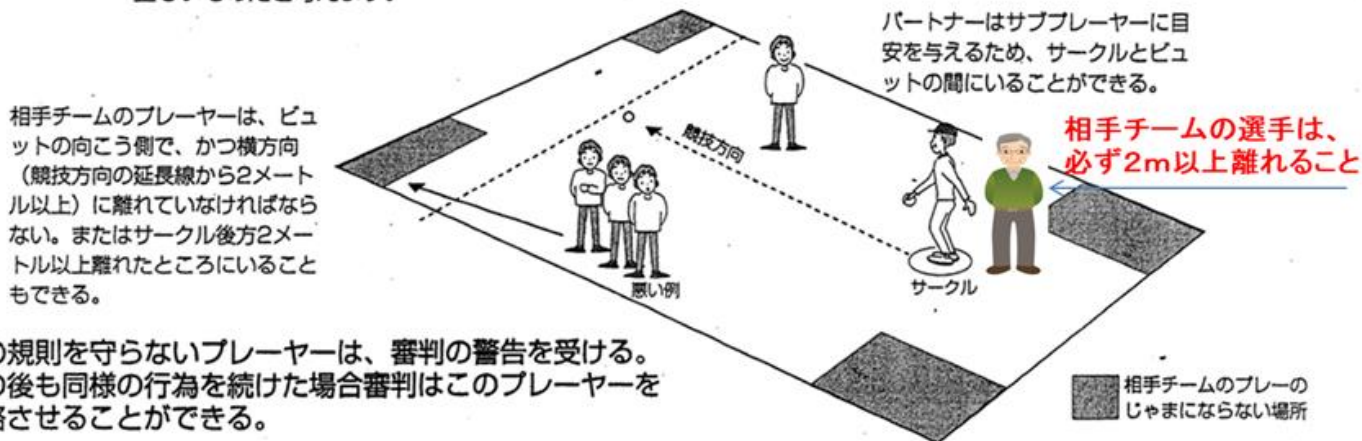


進行方向と同じ線上にマーキングすることは溝をつけている行為ととられますのでマーキングの行為としては好ましくありません。

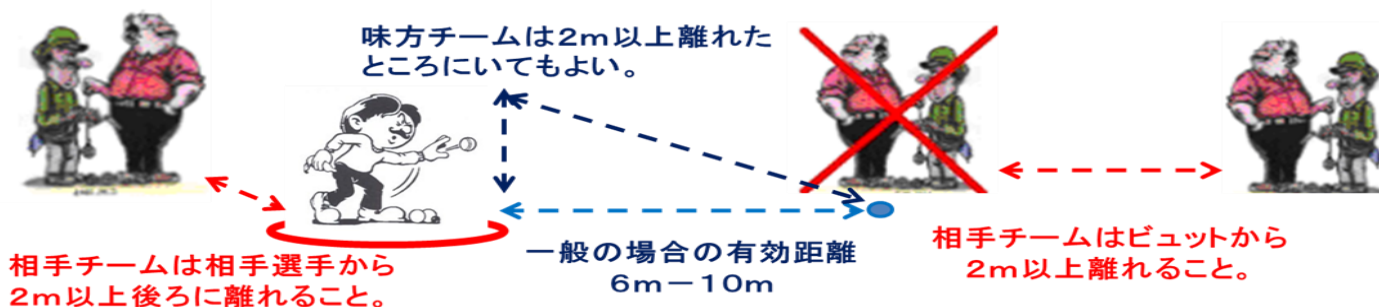
13、第17条は厳守して下さい。

競技者が投球するために与えられた規定の時間内は、観客および競技者は静粛にしていなければならない。

この2行は、ペタンク競技にとって最も重要なことです。ティールは、他のスポーツのなかの的当て競技と比較しても高度な精緻性を要求され、当然、精神的コントロールが大切なこととなります。ティールの成否に直結するものです。名選手の多くは、カメラのシャッター音やフラッシュ、視界の中の少しの動きも嫌います。このような時、彼らがサークルから出て、また入り直して構えることは普通に見受けられます。競技大会に望む際、冷静、沈着で、謙虚さのある姿勢が正しいものだと考えます。



この規則を守らないプレイヤーは、審判の警告を受ける。その後も同様の行為を続けた場合審判はこのプレイヤーを失格させることができる。





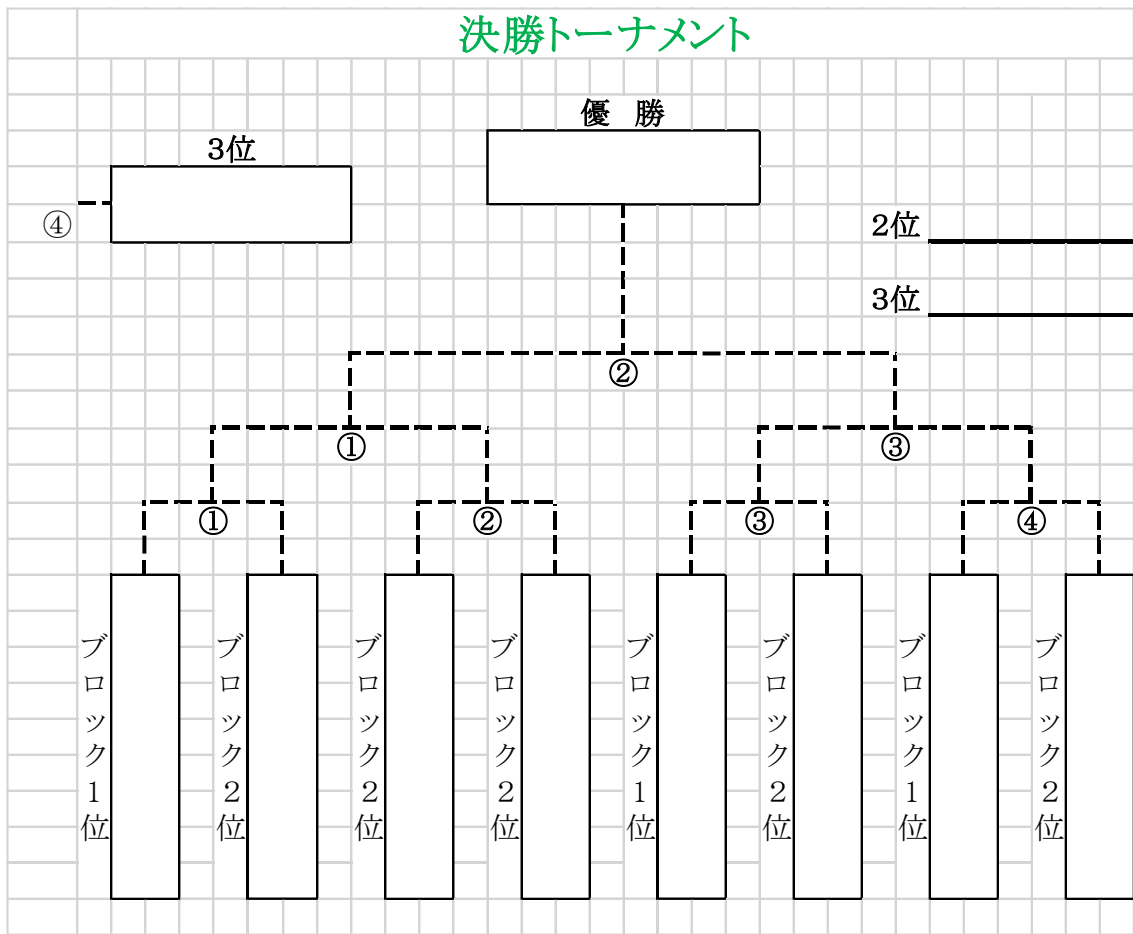




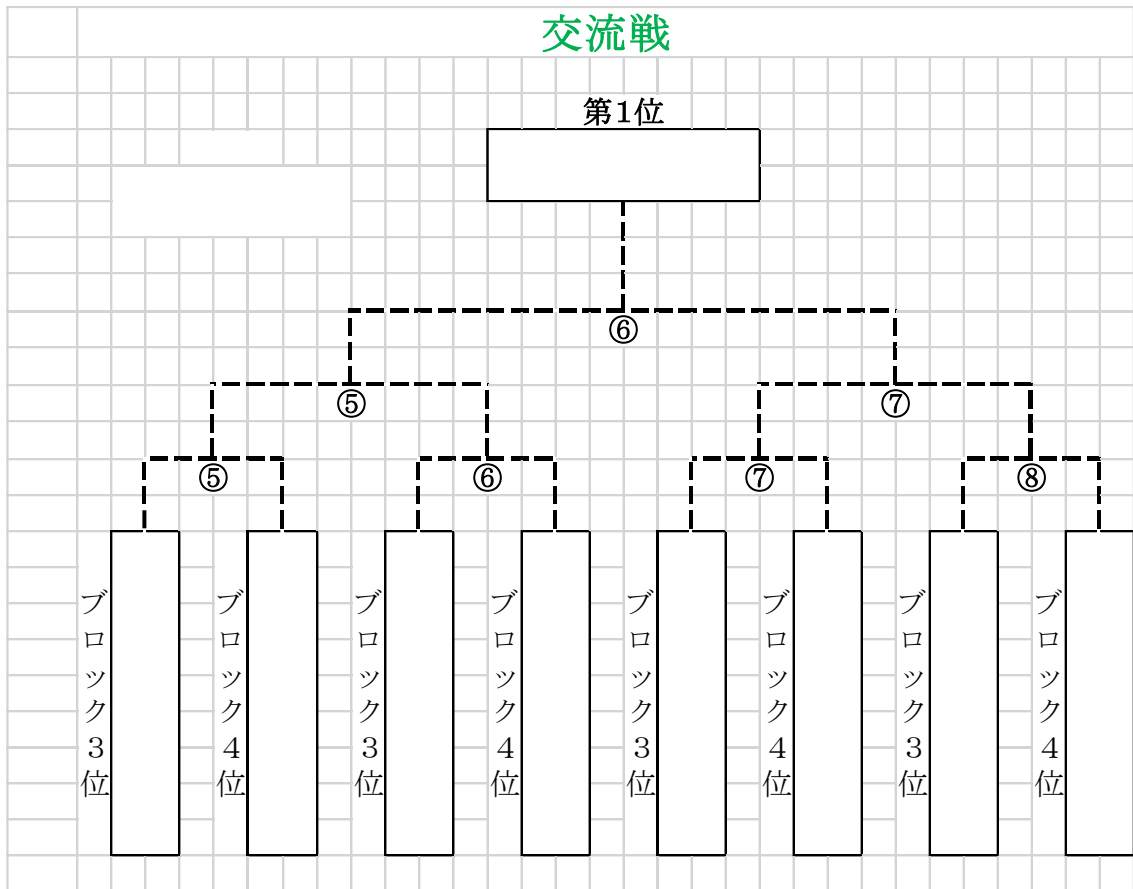




# 決勝トーナメント



# 交流戦



\* 対戦チームは指定コートに移動

◎競技開始宣言

大会委員長

布施善範

\* 予選リーグの各試合の予定時間(あくまでも目安時間です)。

|      |               |  |
|------|---------------|--|
| 第一試合 | 9時00分～ 9時30分  |  |
| 第二試合 | 9時40分～10時20分  |  |
| 第三試合 | 10時30分～11時00分 |  |

\* 決勝トーナメント及び交流トーナメント戦の各試合の予定時間。  
(あくまでも目安時間です)

|      |               |  |
|------|---------------|--|
| 第一試合 | 11時10分～11時40分 |  |
| 第二試合 | 11時50分～12時20分 |  |
| 第三試合 | 12時30分～13時00分 |  |

\* 第3試合については、昼食後又は試合終了後になります。(進行上の判断)  
昼食については適時に対応いたします。

## ※ 表彰規定

(1) 参加者全員に参加賞(さくらんぼ)。

(2) 決勝トーナメント戦

① 優勝=優勝トロフィー(持ち回り) (メダル)・賞状・賞品

② 準優勝=(メダル)・賞状・賞品

③ 第3位=(メダル)・賞状・賞品

(3) 交流トーナメント戦

\* 第1位=賞品。

## 閉会式次第

進行 桑島正孝 様

◎ 閉式のあいさつ 大会副委員長 渋谷佐輔 様

◎ 大会結果発表 競技委員長 上田 壮 様

◎ 表彰及び評価 大会委員長 布施善範 様

その他・事務連絡等 山形県ペタンク連盟・副会長 上田 壮 様

◎ 大会閉会のあいさつ 大会委員長 布施善範 様